

足元のおしゃれを楽しめる オープントゥソックス“ririla”を提案

日本ニット株式会社 奈良県香芝市

1959（昭和34）年創業の靴下メーカー、日本ニット株式会社。高品質な靴下の国内自社製造にこだわる同社は、今春からファッション靴下“ririla”の販売に力を入れている。

“ririla”は、靴下×サンダルのコディネートが流行する中、フットネイル等足元のおしゃれにこだわる女性をターゲットにしたオープントゥソックス（つま先の空いた靴下）として2015年に企画がスタート。ブランド名には、コンセプトである リラックス relax、リフレッシュ refresh、ラグジュアリー luxury の頭文字が冠せられている。

最大の特徴は、外見から5本指靴下であることを感じさせない、すっきりしたシルエットにある（意匠登録済）。外から見えない指の付け根部にパーティション（区切り）を設け、指先のずれや指の間の蒸れを抑えたことで、機能性とファッション性を兼ね備える。

本年5月に大手百貨店やセレクトショップで販売開始以来、ファッション感度の高い女性を中心に好評を得ているという。

代表取締役の里井謙一氏は、「商品検査機関でサーモグラフィ試験を行った結果、オープントゥでも指先の温かさが保たれることがわかった。夏場、冷房の効いた部屋の中でも足元のおしゃれを楽しみたい女性にも提案していきたい」と語る。



フットネイル等の足元のおしゃれを楽しめる“ririla”（左）、指の間のパーティションが特徴（右）

長年OEM（納入先ブランドによる受託製造）で成長を続けてきた同社が、初めて自社ブランド事業“KENBEE”（2013年に「ケンビースポーツソックス研究所」と改称）を立ち上げたのは2004年。「アスリートの勝利を足元から科学する」とのコンセプトで展開される高機能靴下にはリピーターも多い。

そんな同社が、次なる自社ブランド事業として女性向けファッション靴下を手掛けたのは、「高機能靴下製造で培った自社のノウハウを活かし、女性を足元から幸せにしたい」との思いから。

靴下づくりへのこだわりは強いが、それを全面に押し出すだけでは、作り手の自己満足に終わりがかねない。だからこそ、「デザインを重視して『尖った』商品を生み出し、新しい価値を提案する必要がある」と里井社長は考えている。

「他の衣料や靴、雑貨等も含めたトータルコーディネートの中で、お客様に心から『欲しい』と思っていただける商品を提案したい。『日本のものづくりで女性のキレイを叶える』を合言葉に、他の衣料品メーカーとの連携を進め、“ririla”を靴下だけでなく他の衣料品にも展開し、広く女性から愛されるブランドに育てたい」と里井社長は夢を語る。

健康志向が高まる米国市場を見据え、今秋にニューヨークで開催される展示会への出展を予定。同社のあくなき挑戦は続く。

（太田宜志）

日本ニット株式会社

〒639-0236
奈良県香芝市磯壁6丁目275番地
TEL: 0745-77-4401 FAX: 0745-77-6735
URL: <http://www.nihon-knit.co.jp/>
<http://ririla.jp/>



里井謙一 社長